

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 平成 30 年 11 月 16 日

東京都作業部会確認 定額未満

(契約変更に伴う再確認 令和 2 年 3 月 25 日)

事業名

案件名 青海アーバンスポーツパーク クライミングウォール整備工事

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委負担のオーバーレイ）を除き都の負担 パラ経費の該当なし 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。 整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備である。 スポーツクライミング会場の施設である。 スポーツクライミングのテストイベントが 2019 年 8 月末に開催する予定であり、IF 要件として本大会と同仕様のウォールを使用することが要求されている。 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> RIBC 2 営繕積算システム（東京都財務局）を基に精査した標準単価等により積算している。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> 予算内に収まる。 新競技のため、他世界大会等の知見を有する IFSC（国際スポーツクライミング連盟）と協議して作成しているため、妥当である。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意で公費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であると考ええる。 V2 予算内 (令和 2 年 3 月 12 日追記) 令和 2 年 2 月 28 日の工事完了により、出来形数量が確定した。その数量及び金額については、コストコンサルタントの査定を受けている。変更後契約金額は V4 予算内である。 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。